

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。また、「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用し、違反する場合は注意を行う。

2. 競技用靴について

- 1) スパイクの数は 11 本以内、長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳およびやり投は 12mm 以下とする。
- 2) 靴底の厚さについて、WA ルールを適用し、規格外のシューズの使用は禁止する。詳細は、「[靴底の厚さ](https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/)」(https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/)を参照すること。
- 3) サークルから行われる投擲種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）は、競技用靴に関する規定の対象外とする。

3. アスリートビブス・腰ナンバー標識について

- 1) アスリートビブスは学連登録時に配布しているもの 2 枚を胸部と背部に確実につけること。但し、跳躍種目の場合は胸部か背部のどちらか一方でもよい。
- 2) 800m以上のトラック競技の場合は、腰ナンバー標識を使用する。右の腰に、しっかりとつけること。
腰ナンバー標識は招集所で受け取り、レース終了後は各自持ち帰ること。
なお、十種競技の 400m と 1500m、七種競技の 200m と 800m は競技場所にて混成競技係が配布する。
- 3) 10000mW においては特別アスリートビブスと腰ナンバー標識を付けること。特別アスリートビブスおよび腰ナンバー標識は共に招集所で受け取り、レース終了後はフィニッシュ地点で所定の場所に返却すること。

4. 各種書類について

大会当日の各種書類の配布及び提出先については、下表の通りとする。

書類・配布物	配布場所・提出先・依頼先
欠場届・重複届・リレーオーダー用紙	招集所（雨天走路）
記録証明書	閉会式前に配布

5. 招集について

- 1) 競技者招集所は、バックスタンド 1F 雨天走路の北側に設ける。招集所へは、第 4 ゲートから競技場の外周を通り、第 3 ゲート（200m スタート付近）から入場すること。
ただし、投てき競技は招集所での招集は行わず、競技場所（瑞穂北陸上競技場 A ゾーン）での最終招集のみとする。
競技者は、下記の時間帯までに招集所に集まり、一次招集を受けた後、競技者係の指示で競技場所に向かうこと。
 - ・トラック競技
競技開始時刻の 20 分前
 - ・跳躍競技
走高跳、走幅跳、三段跳
競技開始時刻の 40 分前
棒高跳
競技開始時刻の 60 分前
 - ・投てき競技
競技開始の 40 分前までに競技場所（瑞穂北陸上競技場 A ゾーン）に集まり、招集後、競技役員
の指示に従うこと
 - ・混成競技
各日最初の種目に限り、上記時間に準じ、招集を受ける。

- 2) 複数種目にエントリーしていて、招集時間が他の種目の競技時間と重なる場合、事前に主催者側が用意した重複届を招集所に提出すること。但し、その場合も、招集時間内に代理人が重複届の控えを持参し、一次招集を受けること。
- 3) 招集に遅れた場合は欠場とみなし、いかなる理由であってもその種目への出場を認めない。
- 4) リレー競技のメンバー編成については、どのラウンドにおいてもその競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、最大2名まで他の競技者と交代することができる。この規制に従わなければ、そのチームは失格となる。(TR21.10[国際])
- 5) リレーのオーダー用紙の提出については、当該競技会の各ラウンドの各組の公表された first call time(その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻)までに正式に提出しなければならない。(TR24.10[国際])

6. 不出場（棄権）について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、下記の要領で「欠場届」を提出する。

- 1) 5月6日（水）正午までは、参加校ごとに事前欠場者を取りまとめ事前欠場届を東海学連までメール（tgr@themis.ocn.ne.jp）にて提出すること。
- 2) 上記以降は、欠場届に必要な事項を記入し、捺印（サインでも可）したものを、各種目の招集開始時刻までに招集所に提出すること。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用具は、棒高跳用ポールを除き、競技場備え付けのものを使用する。但し、投てき物については検定を受けることで個人所有の物の使用を認める。
- 2) フィールド競技で使用するすべり止め（炭マグ）は、各競技者が個人で準備する。
- 3) 投てき物の検定は、瑞穂北陸上競技場 南倉庫（100m フィニッシュ付近）にて、招集完了時刻の60分前から招集完了時刻まで行う。なお、検査後の投てき物は、一時的に競技場備品として扱い、他の競技者との共用とする。破損に関しては、主催者側は何ら責任を負わない。

8. 練習について

- 1) 練習は、原則、瑞穂北陸上競技場を利用する。
ただし、投てき競技を実施予定のため、芝生内への立ち入りは禁止する。
また、進行の妨げになるような行為が禁止する。
- 2) 練習に用いることのできる用器具については、ウォームアップ場係の指示に従うこと。
- 3) 補助競技場のトラックのレーンの使い方は、下表のとおりとする。なお、指定されていない箇所に関しては譲り合って使うこと。（ハードルについては、状況に応じてレーンの増減をする場合がある）

レーン	ホームストレート	第1曲走路～バックストレート
1・2	中長距離及びジョグ	
3・4	短距離（リレー含む）・SD練習	
5・6	女子 100mH	女子 400mH
7・8	男子 110mH	男子 400mH

- 4) その他、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

9. 競技について

1) トラック競技について

- ・400m までの種目は、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走ること。
- ・5000m 以上の種目は、グループスタートを実施する場合がある。
- ・5000m 以上の種目のフィニッシュは、3 レーンより外側を走行すること。先頭が残り 1 周となった時点で、ホームストレートに目印となるカラーコーンを設置する。
- ・5000m 以上の種目について、以下の時間が経過した時点で残り 1 周に到達していない競技者については、競技を打ち切る場合がある。

男子 5000m...スタート後 20 分、女子 5000m...スタート後 25 分

男子 10000m...スタート後 40 分、女子 10000m...スタート後 45 分

男子 10000mW...スタート後 55 分、女子 10000mW...スタート後 65 分

2) フィールド競技について

- ・長さの跳躍種目について、同一種目で複数の組に分かれている場合は、すべての組で 3 回の試技が終了した後に、全体のトップ 8 のみで追加の 3 回の試技を行う。
- ・長さの跳躍種目のピットは、トラック側を A ピット、スタンド側を B ピットとする。
- ・三段跳の踏切位置は男子 12m (2 組の場合は 12m と 11m)、女子 10m とする。但し、該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。
- ・走高跳は A ゾーンで実施し、メインスタンド側を A ピットとし、バックスタンド側を B ピットとする。
- ・投てき種目 (混成競技を含む) は、すべて瑞穂北陸上競技場で行う。
- ・跳躍競技 (高さで順位を決定する競技) のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子走高跳 A (1m85、1m95) 1m80-1m85-1m90-1m95-1m98 以降 3cm ずつ

男子走高跳 B (1m70、1m80、1m90) 1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90-1m95-1m98

以降 3cm ずつ

女子走高跳 (1m40、1m50、1m60) 1m30-1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m58 以降 3cm ずつ

男子棒高跳 (4m00、4m50、4m80) 3m80-4m00-4m20-4m40-4m60-4m70 以降 10cm ずつ

女子棒高跳 (2m80、3m30、3m50) 2m80-3m00-3m20-3,40-3m50 以降 10cm ずつ

※ () は練習の高さとする。なお、3 種類ある場合は、そのうち 2 つを選択することができる。

※ ジャンプオフは、1 位決定のときのみ行う。

※ 優勝が決まり最後の 1 名になったら、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出る。

※ 審判長の判断で、開始の高さを変更する場合がある。

3). 混成競技について

- ・招集は各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以降の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技者控室待機し、競技役員の指示に従う。
- ・混成競技における招集時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ・混成競技者控室として競技場内緒室を使用するので、会場図を参照すること。当該種目の競技者および競技役員以外の混成競技者控室への立ち入りは一切禁止とする。
- ・走高跳および棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

十種競技

走高跳 (1m60、1m80) 開始の高さ：1m60 バーの上げ方：一律に 3cm ずつ

棒高跳 (2m80、3m50、4m00) 開始の高さ：2m80 バーの上げ方：一律に 10cm ずつ

七種競技

走高跳 (1m35、1m55) 開始の高さ：1m35 バーの上げ方：一律に 3cm ずつ

※ () は練習の高さとする。なお、3 種類ある場合は、そのうち 2 つを選択することができる。

※ 審判長の判断で、開始の高さを変更する場合がある。

4) TR4.4 は、この競技会には適用しない。

